

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和03年01月07日

計画の名称	鳥取県管理港湾及び境港における物流機能向上・施設の長寿命化による安全・安心な港湾環境の創出（防災・安全）（重点）												
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	鳥取県, 境港管理組合（鳥取）												
計画の目標	鳥取自動車道の全線開通（平成25年3月）や山陰道（H30年代開通予定）、米子自動車道等の高速道路網に近接する鳥取県管理港湾（鳥取港・田後港・米子港・赤碓港）及び境港は海陸交通の結節点であり、物流拠点や地域の重要な基盤産業である漁業の基地港としての役割が今まで以上に期待される場所である。また境港においては境港－東海（韓国）－ウラジオストク（ロシア）を結ぶ日本唯一の国際定期貨客船の定期就航や日本海側拠点港（国際海上コンテナ・原木・外航クルーズ（平成23年11月））の認定並びにコンテナ貨物量や大型クルーズ船の寄港数の増加等、物・人ともに北東アジアのゲートウェイとして重要な役割を担っている。施設改良による物流機能の向上及び既存施設の延命化による安全・安心な港湾環境の創出により、港湾のさらなる活性化を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	1,495	A	1,495	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	老朽化等により損傷している既存施設2,324m（係留施設1,031m、外郭施設470m、臨港交通施設823m）について、補修及び腐食対策等を行い既存施設を長寿命化させ、港湾の機能維持を図る。 補修及び腐食対策により長寿命化した施設延長（鳥取港・米子港） （整備率）＝（評価年次における長寿命化した施設延長）／（老朽化等により破損している既存施設延長 2,324m）×100	0%	75%	100%
2	老朽化等により損傷している既存施設122基について、補修及び腐食対策等を行い既存施設を長寿命化させ、港湾の機能維持を図る。 補修及び腐食対策により長寿命化した施設延長（鳥取港） （整備率）＝（評価年次における長寿命化した施設延長）／（老朽化等により破損している既存施設延長 122基）	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
港湾事業	A02-001	港湾	一般	鳥取県	直接	—	重要	—	賀露1号物揚場（-3.0m）（改良）	エプロン改良 上部工の改良及び車止設置 L=183m	鳥取市/鳥取港・賀露地区	■					27	策定済	
	1-A1-33、重点計画																		
	A02-002	港湾	一般	鳥取県	直接	—	地方	—	-3.5m物揚場（改良）	上部工改良 L=72m	米子市/米子港・旗ヶ崎地区	■	■	■	■	■	282	策定済	
	1-A1-68、重点計画																		
	A02-003	港湾	一般	鳥取県	直接	—	地方	—	-4.5m岸壁（改良）	上部工改良及び被覆改良及び防舷材交換 L=220m	米子市/米子港・旗ヶ崎地区	■	■	■	■	■	190	策定済	
	1-A1-72、重点計画																		
	A02-004	港湾	一般	鳥取県	直接	—	重要	—	第2防波堤（改良）	上部工嵩上げ L=470m	鳥取市/鳥取港・千代地区		■	■	■		300	策定済	
	1-A1-88、重点計画																		
	A02-005	港湾	一般	鳥取県	直接	—	重要	—	第8防波堤（改良）	上部工改良 L=100m	鳥取港・西浜地区			■			30	策定済	
	R2より重点計画、R2以前A02-048																		
	A02-006	港湾	一般	鳥取県	直接	鳥取県	重要	改良	2号岸壁（-7.5m）（改良）	上部工改良、防舷材交換及び車止設置 L=100m	鳥取港・千代			■	■	■	135	策定済	
	R1以前：1-A1-34																		

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
港湾事業	A02-007	港湾	一般	鳥取県	直接	鳥取県	重要	改良	5・6号岸壁（-4.5m）（改良）	防舷材交換 L=84基	鳥取港・千代			■			30		策定済
	R3補正より重点計画、R3以前A02-007																		
	A02-008	港湾	一般	鳥取県	直接	鳥取県	重要	改良	4号岸壁（-5.5m）（改良）	防舷材交換 L=38基	鳥取港・千代			■			15		策定済
	R3補正より重点計画、R3以前A02-008																		
	A02-009	港湾	一般	鳥取県	直接	鳥取県	重要	改良	賀露2号岸壁（-4.5m）（改良）	縁金物設置 L=180m	鳥取港・賀露			■			15		策定済
	R3補正より重点計画、R3以前A02-009																		
	A02-010	港湾	一般	境港管理組合（鳥取）	直接	境港管理組合（鳥取）	重要	改良	係留1～3号栈橋（-3.0m）（改良）	防食 L=387m	境港・外港竹内南地区				■	■	90		策定済
	R3補正より重点計画、R3以前A02-010																		
	A02-011	港湾	一般	境港管理組合（鳥取）	直接	境港管理組合（鳥取）	重要	改良	清水物揚場（-3.0m）（改良）	エプロン改良 L=104m	境港・外江地区				■		138		策定済
	R3補正より重点計画、R3以前A02-027																		
	A02-012	港湾	一般	境港管理組合（鳥取）	直接	境港管理組合（鳥取）	重要	改良	臨港道路江島埠頭背後2号線（改良）	舗装改良 L=160m	境港・江島地区				■		18		策定済
	R3補正より重点計画、R3以前A02-032																		

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
港湾事業	A02-013	港湾	一般	境港管理組合（鳥取）	直接	境港管理組合（鳥取）	重要	改良	昭和南4号岸壁（-14.0m）（改良）	防舷材改良 N=3基	境港・外港昭和南地区				■		60		策定済	
			R3補正より重点計画、R3以前A02-059																	
	A02-014	港湾	一般	境港管理組合（鳥取）	直接	境港管理組合（鳥取）	重要	改良	昭和南1号岸壁（-13.0m）（改良）	防舷材改良 N=8基	境港・外港昭和南地区				■		120		策定済	
	A02-015	港湾	一般	境港管理組合（鳥取）	直接	境港管理組合（鳥取）	重要	改良	昭和北5号線（改良）	道路改良 L=274m	境港・外港昭和北地区				■	■	21		策定済	
	A02-016	港湾	一般	境港管理組合（鳥取）	直接	境港管理組合（鳥取）	重要	改良	昭和北6号線（改良）	道路改良 L=389m	境港・外港昭和南地区				■	■	24		策定済	
											小計							1,495		
											合計							1,495		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30				
配分額 (a)	0				
計画別流用増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	0				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d- e- f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d)) %	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					